

・わたしが創る あなたが創る さつま町 ～おごじょパワーでまちは元気～  
 ・ できることから コツコツと やってみなきゃ はじまらない



「心身共に健康で健やかに暮らせる町づくり」を目指すには、身近なところで気軽に健康づくりを实践する環境が必要です。  
 □ 私達、保健福祉分科会は、さつま町の医療費の軽減を目指し、予防医学の立場から健康づくりを推進するため次のことを提言します。

保健福祉分科会 テーマ「心身共に健康で健やかに暮らせる町づくり」

提言1 健康づくりは「身近に」「気軽に」できることからはじめよう。

提言2 サロンの輪を広げ、身近な健康づくり、仲間づくりを实践しよう。

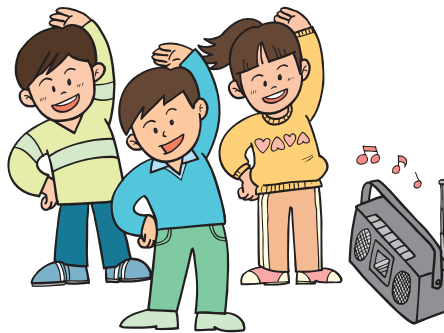
提言3 町民の健康づくり「ラジオ体操」を实践しよう。

〈私たちにできること〉

- 各自の健康への意識を高めましょう。
- (仲間や地域でのウォーキング、健康体操教室への参加など)
- ふれあいサロン等へは、前向きに参加しましょう。
- 身近な健康づくりに「ラジオ体操」を实践しましょう。
- 地域の行事へ積極的に参加しましょう。
- 「食育」による健康づくりを推進しましょう。

与えられた任期中、分科会員一人ひとりが前向きに、情熱を持って協議し、検討される姿勢にすばらしい力を感じました。これまでの分科会活動を通じて、集約された「ラジオ体操」の推進については、実現可能なものにし、私達の活動を活かすことができることを願います。

□〽保健福祉分科会活動に参加して〽



次回は「教育分科会」の提言内容についてご紹介します。

保健福祉分科会

男女共同参画シリーズ  
 へつしまおごじょ元気会『提言』②

第2回目となる今回は、保健福祉分科会から出された提言内容についてご紹介します。